エコアクション21　環境活動レポート

わ・わ・わ、和と書いて、Kano かのう 和建設

令和5年11月30日　発行

（運用期間　令和4年9月～令和5年8月）

レポート目次

組織の概要		……	Page.1
対象範囲		……	Page.2
環境経営方針		……	Page.3
実施体制図		……	Page.4
単年度及び中長期環境目標	現場（本社、岡山支店、住宅事業部）	……	Page.5
〃	事務所全体（本社、岡山支店、住宅事業部）	……	Page.7
環境活動計画		……	Page.8
環境目標の実績	事務所全体（本社、岡山支店、住宅事業部）	……	Page.9
〃	現場（本社、岡山支店、住宅事業部）		
環境活動計画の取組結果とその評価及び次年度の取組内容		……	Page.12
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟等の有無		……	Page.14
代表者による全体の評価と見直し・指示		……	Page.15
補足資料：和建設のSDGｓ～和建設が目指す世界 環境活動・地域貢献活動日誌		……	Page.16

組織の概要

和建設 株式会社
代表取締役社長　中澤　陽一

本社	〒780-0056	高知市北本町４－３－２５
倉庫	〒781-0315	高知市春野町東諸木140,141
岡山支店	〒700-0962	岡山市北区北長瀬表町2-3-14
住宅事業部	〒780-0023	高知市東秦泉寺5-1
倉敷ｼｮｰﾙｰﾑ	〒710-0061	倉敷市浜ノ茶屋313-7
ﾊｳｼﾞﾝｸﾞﾓｰﾙ倉敷展示場	〒710-0801	倉敷市酒津1625-1
RSK展示場	〒701-0164	岡山市北区撫川1575-1
ﾗｲﾑ展示場	〒781-8104	高知市高須一丁目15-27
KANO　PLAT	〒780-0056	高知市北本町3-9-3
kanau	〒780-0084	高知市帯屋町1丁目13

環境管理責任者氏名及び連絡先

工務部 部長　佃　裕彦
TEL：088-885-5888
E-mail：tsukuda@kano-kensetsu.com

事業活動の内容

建設業の許可 許可の有効期間	国土交通大臣許可　第15697号 令和４年1月31日～令和９年1月30日まで
建設業の種類	土木工事業、建築工事業、大工工事業 左官工事業、とび・土工工事業、石工事業 屋根工事業、タイル・れんが・ブロック工事業 鋼構造物工事業、鉄筋工事業、板金工事業 ガラス工事業、塗装工事業、防水工事業 内装仕上工事業、熱絶縁工事業、建具工事業 解体工事業
一級建築士事務所 登録有効期限	高知県知事登録　第290号 令和４年3月30日～令和９年3月29日まで
宅地建物取引業 免許有効期間	国土交通大臣許可（6）第5321号 令和5年3月15日～令和10年3月14日まで

事業規模（令和4年9月～令和5年8月）

完成工事高　　4,098,897千円

事業所の延床面積	本社	RC造3階　999.01㎡
	岡山支店	RC造3階　624.00㎡
	住宅事業部	S+W造2階　693.88㎡

対象（認証・登録）範囲

対象事業所

本社	〒780-0056	高知市北本町４－３－２５
倉庫	〒781-0315	高知市春野町東諸木140,141
岡山支店	〒700-0962	岡山市北区北長瀬表町2-3-14
住宅事業部	〒780-0023	高知市東秦泉寺5-1
倉敷ｼｮｰﾙｰﾑ	〒710-0061	倉敷市浜ノ茶屋313-7
ﾊｳｼﾞﾝｸﾞﾓｰﾙ倉敷展示場	〒710-0801	倉敷市酒津1625-1
RSK展示場	〒701-0164	岡山市北区撫川1575-1
ﾗｲﾑ展示場	〒781-8104	高知市高須一丁目15-27
KANO PLAT	〒780-0056	高知市北本町3-9-3
kanau	〒780-0084	高知市帯屋町1丁目13

事業活動

建設業　土木工事業、建築工事業、大工工事業
左官工事業、とび・土工工事業、石工事業
屋根工事業、タイル・れんが・ブロック工事業
鋼構造物工事業、鉄筋工事業、板金工事業
ガラス工事業、塗装工事業、防水工事業
内装仕上工事業、熱絶縁工事業、建具工事業
解体工事業

宅地建物取引業

小売業　アウトドア用品販売

不動産賃貸業　レンタルスペース運営

環境経営方針

私たち和建設株式会社は、しあわせな街づくり、住まいづくりを推進する為
その事業活動が及ぼす環境への影響を全社員が認識し
和のある循環型社会の構築へ、自主・積極的に取り組み、技術開発・
新規格を進めていくことで、新商品の開発を行い、ビジネス
チャンスに繋げていく。

- **具体的に次のことに取り組みます。**
  - ① 電力・化石燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
  - ② 環境に配慮した設計・建築工法の実施
  - ③ 建設資材の省資源、廃棄物の３Ｒ（減量、再使用、再生利用）の推進
  - ④ 水資源の節水
  - ⑤ 事務用品のグリーン購入
  - ⑥ 地域の環境活動主催及び、参加

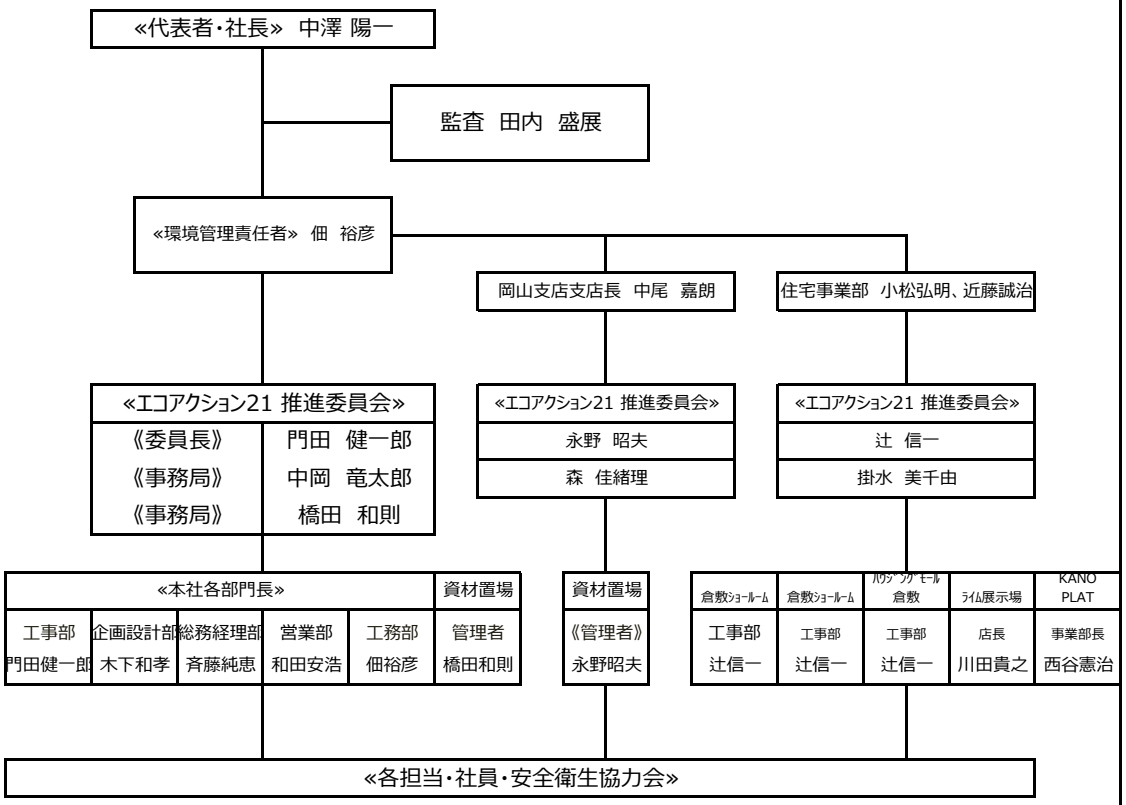
- **環境関連法規制を遵守します。**

- **従業員への環境方針を周知します。**

- **環境活動レポート等環境情報については、外部へ公表します。**

制定日　平成25年1月5日
改訂日　令和3年9月1日
中　澤　陽　一

実施体制図　役割･責任･権限



代表者（社長）	･環境経営に関する統括責任 ･環境経営システムの実施及び管理に必要な人員、設備、費用等の準備 ･環境管理責任者及び推進委員と各部門長の任命 ･環境方針の策定･見直し及び全従業員への周知 ･全体の評価と見直しの実施 ･環境活動レポートの承認
環境管理責任者	･環境経営システムの構築･実施･管理 ･環境目標設定と環境活動計画書の承認 ･環境関連法規等の取りまとめ表の承認 ･各手順書の承認 ･目標の達成状況及び活動計画の結果報告書の作成･評価 ･環境活動の取組結果を代表者に報告 ･環境活動レポートの確認
推進委員会	･環境管理責任者、各部門長の補佐 ･文書･記録管理手順書の作成 ･文書及び記録の原本管理 ･環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ･環境活動レポートの作成及び地域事務局への送付
各部門長	･環境経営システムの実施 ･各担当･社員･安全衛生協力会への環境方針の周知 ･環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ･環境目標･環境活動計画書の作成及び運用管理 ･必要な手順書の作成及び運用管理 ･緊急事態への対応手順書作成、施行（テスト）･訓練･記録 ･問題点の発見、是正、予防処置
現場代理人及び各担当･社員･安全衛生協力会	･環境経営方針への理解と取組の重要性を自覚 ･環境関連法規等取りまとめ表及び順守評価記録の作成 ･必要な手順書の作成及び運用管理 ･緊急事態への対応手順書作成、施行（テスト）･訓練･記録 ･自主･積極的にエコアクション21の活動に参加

単年度及び中長期環境目標（現場）

３年間の目標　　本社

項目	実績基準値　R1.9～R4.8の平均値				目標		
	実績		同左の単位基準（Ｘ/出来高）		R4.9～R5.8	R5.9～R6.8	R6.9～R7.8
軽油	78,313	L	49.4	L/百万円	48.9	48.4	47.9
電力使用量	57,832	kWh	36.5	kWh/百万円	36.1	35.7	35.4
CO_2排出量	236,802	kg-CO2	149.4	kg-CO2/百万円	147.9	146.4	144.9
水使用量	2,449	㎥	1.54	㎥/百万円	1.53	1.52	1.51
産業廃棄物排出量	607	t	0.38	t/百万円	0.37	0.37	0.37
再資源化率	86.0	%			85	85	85

・軽油、電力使用量、CO2排出量は年間１%、水使用量、産業廃棄物排出量は、基準値より年間0.5%ずつの削減率目標

※　電力のCO2排出係数は0.574kg-CO2／ｋＷｈを自社基準とする。（四国電力･調整後排出係数）　「令和3年9月に見直し」

・単位基準に使用売上高は、1,611百万円

３年間の目標　　岡山支店

項目	実績基準値　R1.9～R4.8の平均値				目標		
	実績		同左の単位基準（Ｘ/出来高）		R4.9～R5.8	R5.9～R6.8	R6.9～R7.8
軽油	56,215	L	55.8	L/百万円	55.2	54.6	54.1
電力使用量	55,538	kWh	55.1	kWh/百万円	54.5	53.9	53.4
CO_2排出量	182,046	kg-CO2	180.9	kg-CO2/百万円	179.0	177.2	175.4
水使用量	1,448	㎥	1.43	㎥/百万円	1.42	1.41	1.40
産業廃棄物排出量	1,448	t	0.80	t/百万円	0.79	0.79	0.78
再資源化率	87.0	%			85	85	85

・軽油、電力使用量、CO2排出量は年間１%、水使用量、産業廃棄物排出量は、基準値より年間0.5%ずつの削減率目標

※　電力のCO2排出係数は0.521kg-CO2／ｋＷｈを自社基準とする。（中国電力･調整後排出係数）　「令和3年9月に見直し」

・単位基準に使用売上高は、1,006百万円

単年度及び中長期環境目標（現場）

３年間の目標　　高知住宅事業部

項目	実績基準値　R1.9～R4.8の平均値				目標		
	実績		同左の単位基準（Ｘ/出来高）		R4.9～R5.8	R5.9～R6.8	R6.9～R7.8
電力使用量	12,239	kWh	10.4	kWh/百万円	10.3	10.2	10.1
CO_2排出量	6,674	kg-CO2	5.6	kg-CO2/百万円	5.5	5.5	5.4
水使用量	538	㎥	0.45	㎥/百万円	0.45	0.45	0.44
産業廃棄物排出量	235	t	０・１９	t/百万円	0.19	0.19	0.19
再資源化率	86.0	%			85	85	85

・軽油、電力使用量、CO2排出量は年間１%、水使用量、産業廃棄物排出量は、基準値より年間0.5%ずつの削減率目標

※　電力のCO2排出係数は0.574kg-CO2／ｋＷｈを自社基準とする。（四国電力・調整後排出係数）　「令和3年9月に見直し」

・単位基準に使用売上高は、1,175百万円

３年間の目標　　住宅事業部岡山

項目	実績基準値　R1.9～R4.8の平均値				目標		
	実績		同左の単位基準（Ｘ/出来高）		R4.9～R5.8	R5.9～R6.8	R6.9～R7.8
電力使用量	7,959	kWh	9.5	kWh/百万円	9.4	9.3	9.2
CO_2排出量	4,183	kg-CO2	5.0	kg-CO2/百万円	5.0	4.9	4.9
水使用量	350	㎥	0.42	㎥/百万円	0.42	0.42	0.41
産業廃棄物排出量	362	t	0.43	t/百万円	0.43	0.43	0.42
再資源化率	87.0	%			85	85	85

・軽油、電力使用量、CO2排出量は年間１%、水使用量、産業廃棄物排出量は、基準値より年間0.5%ずつの削減率目標

※　電力のCO2排出係数は0.521kg-CO2／ｋＷｈを自社基準とする。（中国電力・調整後排出係数）　「令和3年9月に見直し」

・単位基準に使用売上高は、８３０百万円

単年度及び中長期環境目標　事務所全体(本社・岡山支店・住宅事業部・wakka・kanau)

３年間の目標　　事務所全体

項目	単位	実績基準値	目標					
		R3.9～R4.8	R4.9～R5.8		R5.9～R6.8		R6.9～R7.8	
ガソリン	L	131,572	130,256	※	128,954	※	127,664	※
電力使用量	kWh	240,541	238,136	※	235,754	※	233,397	※
CO_2排出量	kg-CO2	437,510	433,135	※	428,804	※	424,516	※
一般廃棄物排出量	kg	5,390	5,336	※	5,283	※	5,230	※
水使用量	㎥	630	624	※	617	※	611	※
グリーン購入率	%	72%	72%		73%		74%	
社会貢献活動	回	10	5		10		10	

・※は、基準値より年間1%ずつの削減率目標

※　電力のCO2排出係数は0.574kg-CO2／ｋＷｈを自社基準とする。（四国電力・調整後排出係数）　「令和3年9月に見直し」
※　電力のCO2排出係数は0.521kg-CO2／ｋＷｈを自社基準とする。（中国電力・調整後排出係数）　「令和3年9月に見直し」

・事務所全体とは、本社・岡山支店・住宅事業部の現場を除く、各々の事務所の合計値とする。

環境活動計画　（本社、岡山支店、住宅事業部）

項目	取組内容	担当部署及び責任者
重機・車両の使用による CO_2排出量の削減	・急加速・急発進の防止 ・駐停車中のエンジン停止 ・現場作業員へのエコドライブの指示 ・早期の仮設電気取付による発電機使用回数の低減	本社　橋田 岡山支店　永野 住宅事業部　辻
電気使用量による CO_2排出量の削減	・不在時のPC電源オフ ・省エネ照明への切り替え ・仮設電気に高効率照明器具等を使用する ・過剰冷暖房の防止	本社　木下・橋田 岡山支店　永野 住宅事業部　辻
水使用量の削減	・漏水の定期点検 ・節水型便器への取替え ・節水への呼びかけ	本社　和田・橋田 岡山支店　永野 住宅事業部　辻
産業廃棄物排出量の削減	・施工計画時における副産物の削減検討 ・産廃の分別収集し、リユース・リサイクルをおこなう ・余剰資材の削減　・ﾏﾆﾌｪｽﾄの適正管理	本社　和田・橋田 岡山支店　永野 住宅事業部　辻
一般廃棄物排出量の削減	・使い捨て製品の使用・購入の抑制 ・梱包材の再利用（封筒等） ・分別回収ボックスの適正配置	本社　斉藤 岡山支店　森 住宅事業部　掛水
化学物質の適正管理	・継続して使用しない　・F☆☆☆☆製品の使用 ・使用量の集計	本社　橋田 岡山支店　永野 住宅事業部　辻
環境配慮資材投入及び環境負荷低減に資する商品等	・太陽光発電システムの販売 ・LOW-Eガラスの採用 ・再生砕石の利用　・高断熱材ｶﾞﾗｽの使用 ・仮設材料等の再利用	本社　木下・橋田 岡山支店　永野 住宅事業部　辻
環境配慮工事	・低騒音・低振動型の重機の使用 ・ノッチタンク使用による泥土流出の抑制 ・建設発生土の再利用	本社　橋田 岡山支店　永野 住宅事業部　辻
環境配慮設計	・設計時に環境配慮項目の作成 ・断熱材のダンパック移行 ・廃材を現場外へ出さない仕様書を作成	本社　木下
グリーン購入	・グリーン購入率の調査 ・特定調達用品の使用 ・事務用品のグリーン購入率の更なる促進	本社　斉藤 岡山支店　森 住宅事業部　掛水
社会貢献活動	・定期的な事務所周辺の清掃活動 ・各団体主催の清掃活動への積極的な参加	全社員
	・協働の森での森林保全活動	

環境目標の実績(現場)

1年間の取組結果　本社

項　目	単位	消費・搬出量 令和4年9月～ 令和5年8月 請負金(1,244百万円)	実績値 ※1	目標値 ※2	目標達成率 (目標値/実績値) 100%以上で達成
電力使用量	kWh	37,108	23.0	36.1	156.9 % ○
軽油	L	71,963	44.6	48.9	109.6 % ○
CO_2 排出量	kg-CO_2	210,155.5	130.4	147.9	113.4 % ○
水使用量	㎥	1,457	0.90	1.53	170.0 % ○
産業廃棄物排出量	t	531.30	0.32	0.37	115.6 % ○
再資源化率	%	―	94.9	85.0	111.6 % ○

※1　実績値は請負金100万円に対して消費・搬出した値。

※2　目標値は請負金100万円に対して過去3年間の消費・搬出量より算出した平均値より目標削減率を掛けた値。

※　表示以下の小数点は全て切り捨てとする。

※　電力のCO2排出係数は0.574kg-CO2／kWhを自社基準とする。(四国電力・調整後排出係数)「令和3年9月に見直し」

1年間の取組結果　岡山支店

項　目	単位	消費・搬出量 令和4年9月～ 令和5年8月 請負金(1,762百万円)	実績値 ※1	目標値 ※2	目標達成率 (目標値/実績値) 100%以上で達成
電力使用量	kWh	63,571	36.0	41.7	115.8 % ○
軽油	L	67,172	38.1	37.2	97.6 % ×
CO_2 排出量	kg-CO_2	211,286.8	119.9	124.1	103.5 % ○
水使用量	㎥	1,533.0	0.87	1.05	120.7 % ○
産業廃棄物排出量	t	297.40	0.16	0.37	231.3 % ○
再資源化率	%	―	90.5	85.0	106.5 % ○

※1　請負金100万円に対して実績値より算出した実績基準値。

※2　目標基準値=請負金100万円に対して過去3年間の実績平均値より算出した基準値より目標削減率を掛けたもの

※　表示以下の小数点は全て切り捨てとする。

※　電力のCO2排出係数は0.521kg-CO2／kWhを自社基準とする。(中国電力・調整後排出係数)「令和3年9月に見直し」

環境目標の実績(現場)

１年間の取組結果　住宅事業部高知

項　目	単位	消費･搬出量 令和4年9月～ 令和5年8月 請負金(1,178百万円)	実績値 ※1	目標値 ※2	目標達成率 (目標値/実績値) 100%以上で達成
電力使用量	kWh	10,607	9.0	10.3	114.4 % ○
CO_2 排出量	kg-CO_2	6,088.4	5.2	5.5	105.7 % ○
水使用量	㎥	464	0.39	0.45	115.3 % ○
産業廃棄物排出量	t	360.70	0.31	0.19	61.2 % ×
再資源化率	%	―	85.8	85.0	100.9 % ○

※1　実績値は請負金100万円に対して消費･搬出した値。

※2　目標値は請負金100万円に対して過去3年間の消費･搬出量より算出した平均値より目標削減率を掛けた値。

※　表示以下の小数点は全て切り捨てとする。

※　電力のCO2排出係数は0.574kg-CO2／kWhを自社基準とする。(四国電力･調整後排出係数)「令和3年9月に見直し」

１年間の取組結果　住宅事業部岡山

項　目	単位	消費･搬出量 令和4年9月～ 令和5年8月 請負金(1,012百万円)	実績値 ※1	目標値 ※2	目標達成率 (目標値/実績値) 100%以上で達成
電力使用量	kWh	5,986	5.9	9.4	159.3 % ○
CO_2 排出量	kg-CO_2	3,118.7	3.1	5.0	161.3 % ○
水使用量	㎥	246.0	0.24	0.42	175.0 % ○
産業廃棄物排出量	t	228.30	0.23	0.43	187.0 % ○
再資源化率	%	―	85.4	85.0	100.5 % ○

※1　請負金100万円に対して実績値より算出した実績基準値。

※2　目標基準値=請負金100万円に対して過去3年間の実績平均値より算出した基準値より目標削減率を掛けたもの

※　表示以下の小数点は全て切り捨てとする。

※　電力のCO2排出係数は0.521kg-CO2／kWhを自社基準とする。(中国電力･調整後排出係数)「令和3年9月に見直し」

環境目標の実績事務所全体
（本社・岡山支店・住宅事業部・wakka・kanau）

１年間の取組結果

項目	単位	基準値 R3.9～R4.8	目標値	実績値 R4.9～R5.8	達成率 目標値/実績値	
ガソリン	L	131,572	130,256	142,690	91.3%	
電力使用量	kWh	240,541	238,136	222,252	107.1%	
CO_2排出量	kg-CO2	437,510	433,135	456,963	94.8%	
一般廃棄物排出量	kg	5,390	5,336	4,138	129.0%	
水使用量	㎥	630	624	648	96.3%	
グリーン購入率	%	72%	72%	72%	100.0%	
社会貢献活動	件	10	5	6	120.0%	

※　電力のCO2排出係数は0.574kg-CO2／ｋＷｈを自社基準とする。（四国電力・調整後排出係数）　「令和3年9月に見直し」

※　電力のCO2排出係数は0.521kg-CO2／ｋＷｈを自社基準とする。（中国電力・調整後排出係数）　「令和3年9月に見直し」

・ｸﾞﾘｰﾝ購入率(%)は、事務用品購入金額に占めるｸﾞﾘｰﾝ商品購入金額の割合を示す。

環境管理責任者総括

・ペーパーレス化の動きなどを通じて一般廃棄物の数量が大幅に削減された。

・岡山でのエアコンを新しくしたことなどが電力使用量の削減に寄与したとみている。

エネルギーコスト概算（本社・岡山支店・住宅事業部）総計

項目	単位	使用量	単価	金額
化石燃料使用量				
ガソリン	L	142,690	179	25,535,232
電力使用量	kwh	222,252	32	7,172,365
合計金額				32,707,597

・年間エネルギーコストは、概算：約　3,270万円

・当該年度を基準とし、CO２排出量１%削減した場合、約 20.1万円の経費削減

環境活動計画の取組結果とその評価及び次年度の取組内容

評価は担当責任者へのヒアリング等により、環境管理責任者が行った。

項目	計画に対しての取組結果	評価	環境管理責任者評価
重機・車両の使用による CO_2排出量の削減	社用車へのエコドライブ推進の張り紙等を設置し、ｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾌを励行できているが、ガソリン利用量は増加傾向にある。	△	ｴｺﾄﾞﾗｲﾌﾞの推進は継続して行う。
電気使用量による CO_2排出量の削減	PC電源オフ、冷暖房の温度管理(冷28℃暖20℃)は80%程度実施。服装規定の緩和。	○	クールビズ、ウォームビズが進み、年間通じた服装規定の緩和により、エアコンに使うエネルギーが減っている。
水使用量の削減	給水栓は節水ﾀｲﾌﾟで使用しており、また各現場及び事務所で節水の表示を行い、呼びかけている。	△	継続して実施する。現場についても節水弁を利用するよう指導する。
化学物質の適正管理	F☆☆☆☆に適合した建築資材を使用している。 一部、使用物質の把握・管理が不十分だった点においては、数量把握を実施しており、最小限に抑えているので目標値を設定しない	○	徹底した適正管理が必要。
産業廃棄物排出量の削減	総排出量では目標達成。ペーパーレス化が進んだ。	○	引き続き継続して実施する。
一般廃棄物排出量の削減	プリンタートナーは、出来る限りリサイクル商品を購入し、使用後は100%業者へ返却した。ﾀﾞﾝﾎﾞｰﾙは仕分けして処分している。	○	・再資源化可能な物の分別の更なる徹底
環境配慮資材投入及び環境負荷低減に資する商品等	太陽光発電システムの販売 仮設材等の再利用 LOWEｶﾞﾗｽ・再生砕石の使用	○	太陽光ｼｽﾃﾑは、買取り制度については、今後不確定だが、採用については今後とも検討していく。
環境配慮工事	スペースのある現場では仮置きによる発生土の再利用、低騒音・低振動型の重機、汚泥ろ過ﾀﾝｸの使用については全現場にて実施済	○	引き続き実施していく事。
環境配慮設計	・太陽光発電、節水器具の採用 ・木材やﾀﾞﾝﾊﾟｯｸの現場内利用検討中 ・設計時に環境配慮項目を検討を行った。	○	引き続き具体的方策を検討する事。
グリーン購入	・ｺﾋﾟｰ用紙については100%グリーン商品で、文房具類についても出来る限りグリーン商品の購入に努めた。	○	・グリーン商品購入率72%を達成。さらなる向上を目指す。
社会貢献活動	・各団体の実施している清掃活動へ参加（法人会、建築部会等）	○	・各団体実施のものに加え、SDGs推進のための自社活動も実施し始めた

結果：○　出来ている　△　努力が必要　×出来ていない

環境活動計画 本社：岡山支店：住宅事業部（次年度）

対象期間（令和5年9月 ～令和6年8月）

項目	取組内容	担当部署及び責任者
重機・車両の使用による CO_2排出量の削減	・急加速・急発進の防止 ・駐停車中のエンジン停止 ・現場作業員へのエコドライブの指示 ・早期の仮設電気取付による発電機使用回数の低減 ☆重機のｱｸｾﾙ回転を70～80%で運用	本社 橋田 岡山支店 永野 住宅事業部 辻
電気使用量による CO_2排出量の削減	・不在時のPC電源オフ ・省エネ照明への切り替え ・仮設電気に高効率照明器具等を使用する ・過剰冷暖房の防止 ☆ｸｰﾙｰﾋﾞｽ・ｳｫｰﾑﾋﾞｽの徹底、扇風機の併用	本社 木下・橋田 岡山支店 永野 住宅事業部 辻
総排水量の削減	・漏水の定期点検 ・節水型便器への取替え ・節水への呼びかけ ☆節水ｺﾏの設置	本社 和田・橋田 岡山支店 永野 住宅事業部 辻
産業廃棄物排出量の削減	・施工計画時における副産物の削減検討 ・産廃の分別収集し、リユース・リサイクルをおこなう ・余剰資材の削減 ・マニフェストによる適正管理	本社 和田・橋田 岡山支店 永野 住宅事業部 辻
一般廃棄物排出量の削減	・使い捨て製品の使用・購入の抑制 ・梱包材の再利用（封筒等） ・分別回収ボックスの適正配置	本社 斉藤 岡山支店 森 住宅事業部 掛水
化学物質の適正管理	☆使用物質の把握・管理（SDS） ・F☆☆☆☆に適合した建築資材の使用 ・化学物質の使用量集計 ※目標値は設定しない	本社 橋田 岡山支店 永野 住宅事業部 辻
環境配慮資材投入及び環境負荷低減に資する商品等	・太陽光発電システムの販売 ・LOW-Eガラスの採用 ・再生砕石の利用 ・仮設材料等の再利用	本社 木下・橋田 岡山支店 永野 住宅事業部 辻
環境配慮工事	・低騒音・低振動型の重機の使用 ・ノッチタンク使用による泥土流出の抑制 ・建設発生土の再利用	本社 橋田 岡山支店 永野 住宅事業部 辻
環境配慮設計	・設計時に環境配慮項目の作成 ・断熱材のダンパック移行 ・廃材を現場外へ出さない仕様書を作成	本社 木下
グリーン購入	・グリーン購入率の調査（特定調達品目） ・事務用品のグリーン購入率の更なる促進	本社 斉藤 岡山支店 森 住宅事業部 掛水
社会貢献活動	・定期的な事務所周辺の清掃活動 ・各団体主催の清掃活動への積極的な参加 ・協働の森における森林保全活動	全社員

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟等の有無

遵守項目

- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律　第３条、第11条、第12条
- 騒音規制法　第14条
- 振動規制法　第14条
- 建設ﾘｻｲｸﾙ法　第9条、第10条、第16条
- 資源有効利用促進法　第4条
- 道路交通法　第77条
- 道路法　第7条
- 下水道法　第12条
- ﾌﾛﾝ排出抑制法　第5条
- 建築基準法　第28条
- 省ｴﾈ法　第72条
- 家電ﾘｻｲｸﾙ法　第6条
- 岡山市環境基本条例　第5条
- 高知市環境基本条例　第5条
- 労働安全衛生法　第10、28、88条
- ｸﾞﾘｰﾝ購入法　第5条
- 大気汚染防止法　第３条

運用期間内における違反・訴訟等はありませんでした。
また、過去３年間における外部からの苦情もありません。一部(フロンガス規制の簡易点検)が出来ていなかったが、その他環境関連法規等の遵守違反はありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し記録

実施日：令和5年11月10日

代表者はエコアクション21全体の見直しに必要な情報を収集し、環境管理責任者に報告を求め、
環境経営として有効に機能しているかどうかを経営的視点から定期的に評価し、見直す。

見直しに必要な情報（環境管理責任者からの報告）

前回指示への取組結果

SDGsの推進を加速させていく中でエコアクション21推進の重要性を社員に広く周知して取り組んできた。

環境目標及び環境活動計画の達成状況

項目	環境目標達成状況	環境活動計画達成状況	コメント
CO_2排出量の削減	△	△	達成できなかった。（拠点増のため）
環境配慮設計	－	○	達成できた。今後も継続して取り組む
環境配慮工事	－	○	達成できた。今後も継続して取り組む
水資源の節水量	○	○	達成できた。今後も継続して取り組む
産業廃棄物排出量の削減	○	○	総排出量では達成できた
一般廃棄物排出量の削減	○	○	達成できた。今後も継続して取り組む
環境負荷低減に資する製品等	－	○	達成できた。今後も継続して取り組む
グリーン用品購入量	○	○	達成できた。今後も継続して取り組む
地域貢献	○	○	達成できた。今後も継続して取り組む

環境関連法規等遵守状況

基本法令順守がされていたが、一部(フロンガスの簡易点検)の順守が出来ていなかったので、是正の指示を行った。

外部からの環境に関する苦情や要望

運用期間中の苦情等はなかった

代表者による見直し、指示事項

環境方針変更の必要性　□有　■無

コメント

環境方針は、新しく作成したSDGsロードマップが示す方向性とも相違なく、変更の必要性は無い。

環境目標・環境活動計画変更の必要性　■有　□無

コメント

環境目標を達成するために、次年度以降の中長期目標の見直しを図り、随時改善していく

実施体制の変更の必要性　□有　■無

コメント

昨年変更した実施体制を継続

環境経営システム変更の必要性　□有　■無

コメント

システムは有効に機能しており、現時点で変更の必要性は無い。

代表者自ら得た情報

コメント

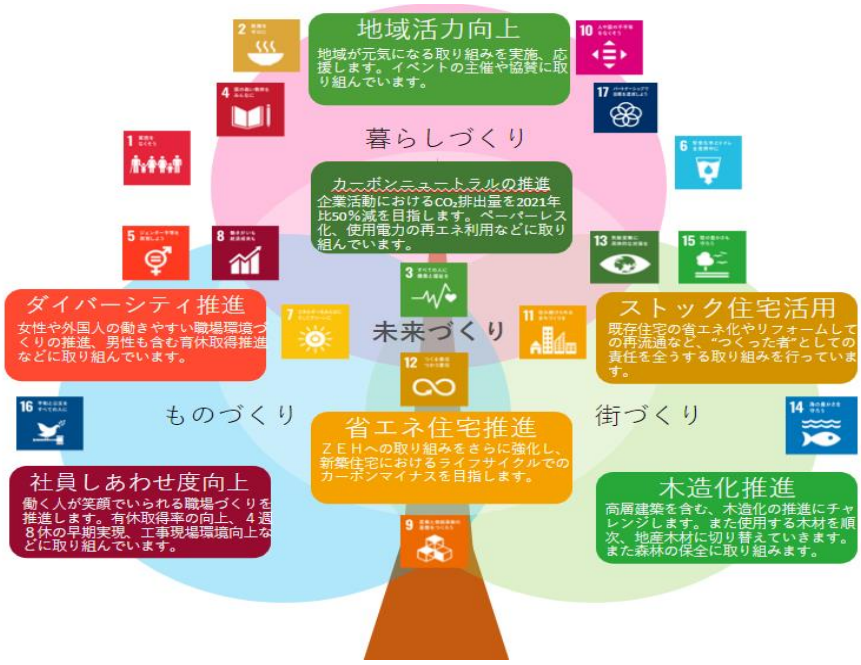
常にPDCAサイクルを意識して取組み、適宜改善しながら経営システムの構築を図る。

総括

・環境方針に基づき、環境目標達成に向け活動を行ってきたがガソリンの使用量増加がCO2排出量の増加に繋がっている。コロナ禍も明け、高知⇔岡山間の移動も戻ってきており、長距離の移動を伴う移動が多くなっていることも一因ではないか。積極的に公共交通機関を使うなど、排出削減に取り組みたい。
・工事に関しては、例年に引き続き、騒音・震動・粉塵・濁水等に対策を行い、環境保全に取組、環境配慮設計・資材・工法等を提案施工し、環境への負荷の軽減を会社全体として積極的に取組める体制作りを指示した。CNCカッターを使った新しい工法への挑戦も行っており、木材の地産地消を進める画期的な取り組みであると考えている。
・SDGs推進委員会に加え、青年部でもSDGs推進チームを組織し、会社全体での取り組んでいく体制を構築している。

補足資料：和建設のSDGs～和建設が目指す世界

令和３年９月に発足したSDGs委員会を中心にSDGs推進のため、「和建設の目指す世界」を策定した。



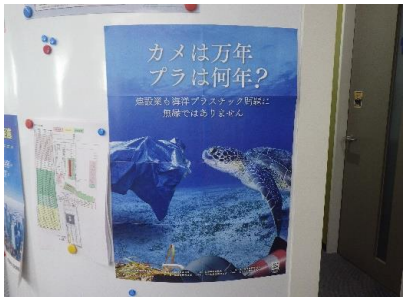
環境活動・地域貢献活動日誌

期間：令和4年9月～令和5年8月

Ⅰ．社内での環境活動

■ 地球温暖化防止及び省エネルギー対策

・社内でのクールビズ・ウォームビズ活動の実施
・環境問題ポスターによる注意喚起
・LED照明の設置



・節電・節水の呼掛け
・ハイブリッドファンの設置

■ 環境保全活動

・ミスプリント・不要FAX用紙の再利用 （廃棄物抑制）
・ゴミ分別 ペットボトル・キャップ・缶 他 （再資源化促進）
・グリーン購入運動の促進（環境負荷低減）

・レジ袋削減取組推進「マイバッグキャンペーン2022」への参加

環境活動・地域貢献活動日誌

期間：令和4年9月～令和5年8月

Ⅱ．現場での環境活動

■ 地球温暖化防止及び省エネルギー対策と環境保全活動

・節電・節水の呼掛け

・朝礼や定例会での環境活動実施の呼掛け

■ 周辺環境への配慮

・低騒音・低振動型の重機の使用

・騒音・振動計の設置による注意喚起

・アイドリングストップ等の注意喚起

・周辺への粉塵・汚れ対策（通路の砕石・ゴムマット敷）

■ その他

・F☆☆☆☆（ホルムアルデヒド等級の最上位規格）製品の使用

・現場事務所内 コロナウイルス感染防止措置